

# 令和7年度 新規職員採用情報について

## (中国四国管内土地改良事業団体連合会)

R06.05.09更新

### ●土地改良事業団体連合会とは（愛称：水土里ネット）

昭和32年の土地改良法改正において、土地改良事業団体連合会が法制化されたことに伴い、**農林水産省から認可を受けて設立された団体**です。

“水土里ネット”の愛称は、地域の人たちに私たちの組織をより身近に感じてもらうため、平成14年10月、全国から応募された22,254点の中から選ばれました。

### ●土地改良事業団体連合会の目的

土地改良事業を行う者の共同組織により、土地改良事業の適切かつ効率的な運営を確保し、その共同の利益を促進することを目的としています。

### ●土地改良事業団体連合会の性格

目的、事業内容などから**公法人の性格**を有し、組織形態などから社団として位置付けられている非営利団体法人です。

### ●土地改良事業団体連合会の特徴

土地改良事業団体連合会は**各都道府県に設立されています。**

会員（市町村・土地改良区等）が行う土地改良事業に対する技術的な指導及び援助等を行うとともに、国・県が行う土地改良事業にも協力しています。

### “食と歴史・文化”の宝庫！～中国・四国エリア～



### ●令和7年度 新規職員採用情報

中国四国管内の土地改良事業団体連合会の新卒採用情報  
(中途採用については各県土地改良事業団体連合会にお問い合わせください)

県名	募集期間	試験日	お問い合わせ先		
			電話番号	メールアドレス	担当者
鳥取県	未定	未定	0857-38-9500	<a href="mailto:tsunakat@otirengogonet.or.jp">tsunakat@otirengogonet.or.jp</a>	津中
鳥根県	令和 6年 3月11日(月) ～ 4月26日(金)	令和 6年 5月18日(土)	0852-32-4141	<a href="mailto:yamada@shimanedor.en.or.jp">yamada@shimanedor.en.or.jp</a>	山田
岡山県	(大卒程度) 令和 6年 5月 7日(火) ～ 5月26日(日)	令和 6年 6月 8日(土)	086-207-2200	<a href="mailto:info@okador.en.or.jp">info@okador.en.or.jp</a>	総務部 総務企画課
	(高卒程度) 未定	未定			
広島県	～令和 6年 6月 3日(月)	令和 6年 6月21日(金)	082-502-7470	<a href="mailto:hdsoki@hdn.or.jp">hdsoki@hdn.or.jp</a>	総務部 総務企画課
	～令和 6年 9月13日(金)	令和 6年 9月27日(金)			
山口県	令和 6年 3月 1日(金) ～ 5月10日(金)	令和 6年 5月25日(土)	083-933-0033	<a href="mailto:akimoto@yamadore.en.or.jp">akimoto@yamadore.en.or.jp</a>	秋本
徳島県	未定	未定	088-626-3211	<a href="mailto:oohashi@okudoren.or.jp">oohashi@okudoren.or.jp</a>	大橋
香川県	未定	未定	087-832-7140	<a href="mailto:k.takahashi@midorinet-kagawa.or.jp">k.takahashi@midorinet-kagawa.or.jp</a>	高橋
愛媛県	～令和 6年 6月25日(火)	令和6年7月8日(月)	089-927-7000	<a href="mailto:somu@ehimedor.en.ne.jp">somu@ehimedor.en.ne.jp</a>	総務部 総務課
高知県	令和 6年 6月 1日(土) ～ 令和 7年 1月31日(金)	随時	088-823-5576	<a href="mailto:soumu@met-kochi.jp">soumu@met-kochi.jp</a>	山口・川崎

※県名をクリックするとご覧になりたい県のホームページに移動します。

農業農村は食料の供給や、国土・環境保全など国民にとって欠くことのできない多面的な役割を果たしていますが、高齢化・後継者不足・過疎化の進行など様々な課題を抱え、農村社会の維持さえ困難になっている地域もあります。

私たち水土里ネットは、高収益作物への転換に向けた農地整備や、ドローン・GISを活用した農業用ため池等の整備など、農業所得向上のための農業生産基盤整備や防災減災対策に加え、農村地域の生活環境整備を通じて、これからの農業農村づくりのお手伝いをしています。

まだまだ大きな可能性を持つ“農業”の更なる飛躍、農村地域を守り続ける人々の笑顔のために、私たちとともにエネルギーを注いでみませんか。